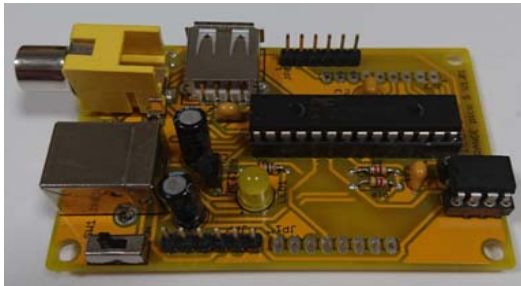


ORANGE pico type S 組立手順

一般的に背の低い部品から先に半田付けした方がやりやすいと言われていますが、ORANGE picoほどの部品から半田付けても大丈夫です。
ただし、ICソケットは部品面からテープ(ニチバン 紙粘着テープ 紙バン 9mm幅がおすすめ)などで仮固定しておいてからの方がやりやすいので、最初に半田付けした方が楽でしょう。
スライドスイッチもテープで仮固定しておいた方が楽なので先に半田付けした方がいいでしょう。

部品表

No.	部品コード	部品名	説明
1	IC1	PIC32MX170F256B	半田付け後にIC1ソケットに刺してください。
2	IC3	低消費電力LDO [ME6209]	基板上の印刷に合わせてください。(基板上はME6209となっておりますが、実際の部品は相当品の7233-Aの場合があります。)
3	IC4	シリアルステアC EEPROM 24LC256	半田付け後にIC4ソケットに刺してください。
4		IC1用ソケット(28P)	基板上の印刷に合わせてください。
5		IC2用ソケット(8P)	基板上の印刷に合わせてください。
6	USB-A	基板取付用USBコネクタ(Aタイプ メス)	基板上の印刷に合わせてください。
7	USB-B	基板取付用USBコネクタ(Bタイプ メス)	基板上の印刷に合わせてください。
8	RCAJ VIDEO	基板用RCAジャック(黄)	基板上の印刷に合わせてください。
9	SW1	基板小型スライドスイッチ	基板に強く押し付けしないでください。向きはどちらでもかまいません。
10	LED1	抵抗内蔵5mm黄色LED(5V用) OSY5LU5B64A-5V	線が長い方が+です。基板の印に合わせてください。
11	C1	積層セラミックコンデンサ-10 μ F	部品に106と印刷してあるものです。基板上は電解コンデンサの印ですが、 極性はありません ので向きはどちらでもかまいません。
12	C2	積層セラミックコンデンサ-10 μ F	部品に106と印刷してあるものです。基板上は電解コンデンサの印ですが、 極性はありません ので向きはどちらでもかまいません。
13	C4	積層セラミックコンデンサ-0.1 μ F	部品に104と印刷してあるものです。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
14	C6	積層セラミックコンデンサ-0.1 μ F	部品に104と印刷してあるものです。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
15	C13	積層セラミックコンデンサ-10 μ F	部品に106と印刷してあるものです。基板上は電解コンデンサの印ですが、 極性はありません ので向きはどちらでもかまいません。
16	R2	10k	抵抗のカラー帯が 茶黒橙金 です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
17	R3	10k	抵抗のカラー帯が 茶黒橙金 です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
18	R4	10k	抵抗のカラー帯が 茶黒橙金 です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
19	R5	560 Ω	抵抗のカラー帯が 緑青茶金 です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
20	R6	240 Ω	抵抗のカラー帯が 赤黄茶金 です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
21	R9	4.7k	抵抗のカラー帯が 黄紫赤金 です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
22	R10	4.7k	抵抗のカラー帯が 黄紫赤金 です。極性はありませんので向きはどちらでもかまいません。
23	JP7	ピンヘッダー 6pin	シリアル通信ケーブル接続用です。使用する場合は付属のピンヘッダーを分割してご使用ください。
24	JP8	ピンヘッダー 6pin	PICKIT3接続用です。使用する場合は付属のピンヘッダーを分割してご使用ください。



※写真ではC1、C2が電解コンデンサになっていますが、最新版では積層セラミックコンデンサに変更されました。